

2021年度（令和3年度）片島中学校 学校経営方針

*2021チャレンジ3

- ① 「信頼関係」を大切にす→感謝、承認、リスペクト
- ② 「学ぶ意欲」を高める→授業力向上（探究）、基礎基本（形成テスト）
- ③ 「組織対応力」を高める→複数担任制、協働体制、メンター制

I 学校経営理念

「公教育の場として、地域のすべての生徒に、主体的に社会を生き抜く力を育てる」

<重視する5つの視点>

1. 教育公務員としての自覚と熱意

教育のプロの集団としての自覚と熱意を持ち、生徒・保護者・地域の視点に立った学校づくりをすすめる。

2. 「チーム学校」として機能する学校

教職員一人ひとりの個性を最大限に生かせる機能を有した組織を構築し、生徒や地域の強みを生かした特色ある学校づくりをすすめる。

3. 進路保障・学力向上

これからの社会をたくましく豊かに生き抜くことができる基盤となる学力を身につけ進路を保障する。

4. 生徒指導・支援の充実

厳しい環境や状況にある生徒への組織的支援となかまづくりをすすめ、生徒指導の機能を意識した取組を通して、生徒の自己肯定感・自己有用感を高める。

5. 地域との連携・協働

地域学校協働本部の取組を中心として、地域に開かれた学校づくりをすすめるとともに、地域社会の一員として地域に貢献できる学校を目指す。

II 学校経営方針

1. 学校教育目標

われし わがさと せんじん さきがけ いま ころざし

「我ら識る、我が郷土、先人の魁、今志」

～ 郷土と人（命・人権）を大切にし、主体的に未来を生き抜く人を育てる ～

2. 学校教育目標実現のために必要な姿 信頼関係を土台にして鍛えて伸ばす

(1) 「学校」

- ①当たり前が当たり前でできる。(凡事徹底・凡事一流)
- ②互いを認め合い・高め合うことができる。(人権尊重)
- ③郷土に学び、地域との連携を大切に、地域に貢献できる。

(2) 「職員・職場」

- ①固定観念にとらわれず、より良い変革を求めて行動できる。
- ②一人ひとりの生徒の実態を直視し、生徒に寄り添うことができる。
- ③報告・連絡・相談が徹底され、明るく風通しの良い環境。

(3) 「生徒」

- ①考え、しっかりと自分を表現することができる。 (か)
- ②互いの違いを認め合い、なかまを大切にできる。 (た)
- ③主体的・対話的で深い学びに向かうことができる。 (し)
- ④真面目に、粘り強く最後まで何事にも取り組むことができる。 (ま)

3. 学校教育目標達成のための重点

(1) 「知」

- 確かな学力の定着と向上
(探求的な学びの創造、授業と家庭学習及び形成的評価との連動)

(2) 「徳」

- 豊かな心の育成、 ○キャリア教育推進、 ○特別支援教育推進
- 人権教育推進、 ○社会貢献活動推進

(3) 「体」

- 体力向上のための授業改善
- 基本的生活習慣の確立

4. 人材育成

- 一人ひとりが互いの特性を理解し、生かし合い成長できる風土をつくる。
- 教師力(授業力・指導力・人間力・マネジメント力)の向上を目指す。

5. 生徒支援

- 厳しい環境(状況)にある生徒を組織として支援する。
- 関係諸機関、地域、校区小学校と連携した支援をすすめる。

6. 家庭・地域との連携・協働

- 家庭や地域にとって、学校が常に開かれた状態であること。
- 家庭や地域の声に真摯に耳を傾ける。

◎研究主題

「情報を的確に捉えて思考・判断し、根拠をもとに表現できる生徒を育てる」

- ※研究仮説：信頼関係が構築されている環境のもとで、安心して学校生活を送り、生徒指導の3機能と探求学習の視点を軸とした授業の実施により生徒の確かな学力の向上が期待できる。